

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和7年度 第4号
令和7年9月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
（上越市立直江津東中学校内）
TEL：025-543-2729
FAX：025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

「キャリア教育」を中核とした生き方教育の推進

直東学園では、「地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども」を子育て目標としています。そして、キャリア教育を中核にした生き方教育を、子どもの自立に向けた大切な教育活動として位置づけています。

文部科学省は、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義しています。それを受け、新潟県は育てたい資質・能力として、5つの視点から取組を進めています。（右図参照）これらの視点は、直東学園の子育て目標と密接に関連しています。

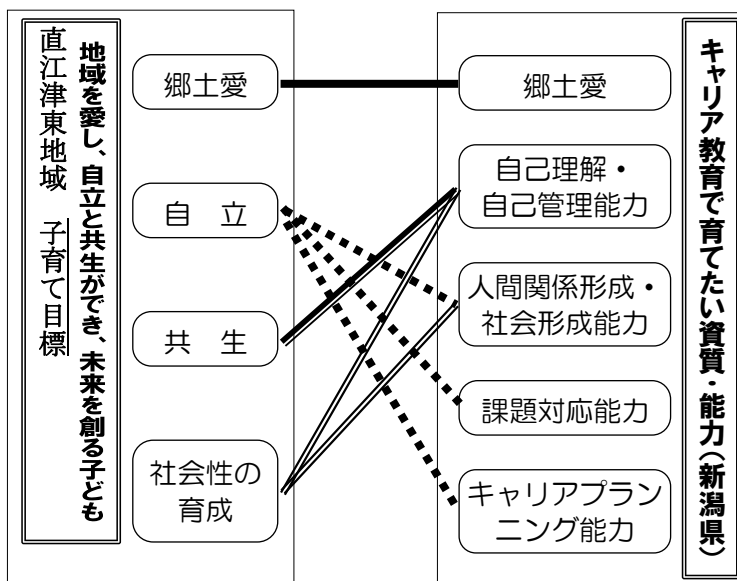
直東学園では、キャリア教育を小学校から中学校までの9年間を通した「キャリア教育を中核にした生き方教育」と捉え、学園内の学校で連携し、一人一人の子どもの生き方を重視した取組を進めています。

各校と連携した取組を実現するために、キャリア教育部会では、地域の教育資源を生かした教育実践について、綿密に情報交換等を行っています。

そこでの検討を経て、令和2年度から、「自分の成長」や「考え方の変遷」を振り返るキャリア・パスポートに取り組んでいます。

さらに、令和5年度には、学期ごとにめあてを振り返る形式も追加しました。廊下等に掲示することで、めあてを日常的に感じることができます。このキャリア・パスポートは、小学校から中学校3年生まで毎年引継ぎ、有効に活用していきます。

＜キャリア教育の視点と直東学園子育て目標との関連（図）＞



＜改定したキャリア・パスポート（6年生の一部）＞

＜1学期＞	
(学習面) めあて	【表面】 各学期のめあてを記入します。
(生活面) めあて	
(家庭や地域、習い事・資格・好きなこと)	【裏面】 各学期のめあてをふりかえります。
(学習面) ふりかえり	
(生活面) ふりかえり	
(家庭や地域、習い事・資格・好きなこと)	

学校・学年によって、従来の形式と新形式を選択して活用します。

振り返り	振り返り
振り返ることができたか。◎・○・△をつけよう。	◎○△
振り返るとき、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。	
相手の考え、相手にわかりやすく伝えようと工夫をすることができましたか。	
活動などで、自分から仕事を見つけ、力を合わせて行動することができましたか。	
競争なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。	
うことがあったとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。	
計画を立てて進めることができましたか。	
振り返って、生活や勉強の仕方を工夫することができましたか。	

北諏訪小学校の取組

北諏訪小学校6年生の取組を紹介します。
6年生は総合「自分探しの旅」をテーマに、様々な方と出会い、様々な所へ出向き、学ぶことや心に響くことと出合っています。その中でも、保護者の方をゲストティーチャーとしてお招きし、お話をお聴きする会を設けています。

子どもたちは、自分の親の話をじっくりと聴くことに、なんとなく照れる様子もありますが、お一人お一人がご自身のこれまでの人生をお話しくださるので、いつの間にか聴き入っている様子があります。

感動したことがたくさんありました。人も見た目で考えずに、その人との関わりを深めていきたいと思いました。（児童の感想より）

私は目標に向かって頑張れない時もあるけれど、「それはできないからダメだ」とあきらめるのではなく、今、自分はその目標に向かって何ができるのかを考えてやりたいと思いました。勇気を出します。（児童の感想より）



お家の方のお話をお聴きして、夢があること、挑戦することが大事だと思いました。また、どんな経験も大事だと言っていた。確かにそうだ！と思いました。（児童の感想より）

人との出会い、生き方に触れた子どもたちは、心が動き、自分自身を見つめるきっかけを得ることが分かります。「自分探しの旅」はこれからも続いていきます。

保倉小学校の取組

「おひさま『貢献』プロジェクト」

～総合的な学習 6年生の取組から～

ねらい

学校や地域のよさ・課題を調べ、現状をよりよくするために自分ができることを計画・実行・振り返り（貢献プロジェクト）を繰り返すことで、これからの生き方に生かしていこうとする態度を育てる。

取組 「保倉の願いを語る会」について

7月4日（金）に、学校運営協議会の方をお招きして「保倉の願いを語る会」を行いました。この会は、「地域のためにできることをしたい」という子どもたちの意見から実現したものです。地域の方と保倉の地域のよさや課題を共有したいと考え、意見交流をしました。



交流の中で、保倉地区のよさは「自然の豊かさやのびのびとした暮らし」、課題としては、「ゴミが落ちていることや、人と人とのつながりがもちにくい」ということが挙げられました。その他にも、委員の方から地域の活動について情報をいただきました。「地域の人と一緒にクリーン作戦ができそう！」「すこやかサロンという集まりがあるらしいから、調べてみたい。」など、学校にいただけでは感じる事ができなかった課題を見つけることができました。今後、自分たちが願う姿に向けて、考え、行動していく予定です。



有田小学校の取組

【低学年】～人間関係形成、自己管理～

1年生は、入学後の約2週間、全校のお兄さん、お姉さんから小学校での生活の仕方を教えてもらったり、1年生同士で遊んだりしました。また、級外の先生から楽しい自己紹介をしてもらうなど、いろいろな人とかかわりました。

2年生は、野菜の個性を調べ、相性を考えながら

「マイ畝」で野菜を育てています。また、益虫が住みやすく地球環境に優しい「マイ畝」になるよう雑草を抜いて草マルチにしました。



【中学年】～共感性、情報活用～

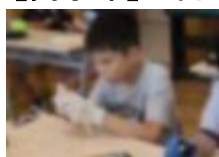


3年生は、学習で地域のスーパーマーケットを見学し、店員さんの工夫や思いを学びました。

また、『レインボー調査隊』（総合的な学習の時間）で校区を探検し、地域の神社の歴史等を町内会長様から教えていただき、地域への関心を高めました。

4年生は、『今、自分たちにできること』（総合的な学習の時間）でSDGsについて調べています。環境問題、水やごみの問題など社会科の学習と関連させながら、身近な課題について調べたり考えたりしています。

【高学年】～自己管理、協働性～



5年生は、『つくる・つかう』（総合的な学習の時間）で、手作り家具職人の前川宏人さん（くまさんの家具工房代表）

と共に手作り箸をつくってきました。つくった箸を家庭で使い、その使い心地から手作りの良さや難しさを感じました。今後もつくり、使うことを通して、「自分とモノとの関係」に関わることにについて探究を深めていきます。

6年生は、『ハッピースマイル』（総合的な学習の時間）で、人とのより良い関わり方やみんなで楽しんだり、喜んだりするためにできることなどを学んでいます。人との関わりから、「みんなで楽しみ、みんなが楽しい」活動をつくるための考え方を広げています。

春日新田小学校の取組

行事や、生活科・総合的な学習の時間など、体験を通して、キャリア教育で育てたい資質・能力を育んでいます。

■全校「縦割り班（なかよし班）活動」

体力テストやウォークラリー、なかよし班遊びの異学年交流の場面で、互いを思いやりながら活動を進めています。



■1年生「人となかよし！いきものなかよし！しぜんとなかよし！」

心を込めてアサガオの世話をする中で、友達と交流を深めながら、自他の成長を感じていました。2学期は、ヤギ2頭を飼育します。

■2年生「ぐんぐんそだて わたしの野さい」

楽しく野菜の世話をする中で、野菜の成長や収穫の喜びを感じました。また、収穫した野菜を持ち帰り、家族に喜んでもらうことで、達成感や充実感を得ていました。

■3年生「上越のすてきを見つけよう」

五感を使って地域や上越の魅力を実際に感じることで、たくさんの「すてき」を見付けていきます。

■4年生「きずな学年ふるさと元気プロジェクト」

関川河川敷をコスモスでいっぱいにし、地域の方に喜んでももらいたいと考えています。そのために、アルミ缶を回収し、その収益でコスモスの種を買って、種まきをしようと計画しています。

■5年生「妙高自然体験教室」

妙高アドベンチャー、キャンドルセレモニー、オリエンテーリングなどに取り組みました。相手を思いやり、助け、励まし合いながら活動することで信頼関係を深めました。

■6年生「えがこう 私の未来予想図」

最高学年として、下学年に積極的にかかわったり、多くの役割を担ったりしながら、リーダー性を高めているところです。



直江津東中学校の取組

【仲間づくり遠足（1年生の取組）】

5月23日、妙高青少年自然の家に行き、仲間づくり活動「妙高アドベンチャー」や級長会が企画したレクを



行いました。班で課題を協力して解決することやこれまで関わったことのない生徒と関わる活動を通して、新しい人間関係を築くことができました。今回の遠足の目的である「仲間づくり」を達成することができました。

【職場体験学習（2年生の取組）】



上越市内の事業所60か所で1日～3日間の職場体験学習を行いました。体験活動を通して、働くことの意義や大変さ、仕事に向かう心構えなどを学びました。また、実際に働いている人に接し、働く意義について学んだり自分の将来の生き方や将来就きたい職業について考えたりする良い機会となりました。3日間で学んだことや得たことを、これからの学校生活や進路選択に生かしてほしいと思います。

【高校説明会（3年生の取組）】

6月27日、7月1日の両日、上越地区の公立高校8校、私立高校2校をお招きして高校説明会を実施しました。初日は2年生も参加し、総勢300名を超える説明会となりました。両日とも、会場は高温となりましたが、集中力を切らさず真剣に聴き、メモを取る姿が印象的でした。直接、高校の先生方から具体的な特色や魅力を説明いただいたことで、3年生はもちろんのこと、2年生も進学への意欲を高めたことでしょう。また、憧れの存在から目標へと変わった生徒もいたことでしょう。いずれにせよ、これから3年生は、進路実現に向け頑張ります。同時に、頑張る姿を後輩に背中



職場体験の感想



【2年生の生徒から】（抜粋）

- ・元気いっぱいな子どもたちとたくさん遊ぶことができてとても楽しかったですが、先生たちの大変さも知りました。
 - ・職場の皆さんは、朝開店前から準備をして、無駄な時間を作らずにテキパキ仕事をしていてすごいと思った。
 - ・最初は仕事より学校のほうが大変だと思っていたけど、何時間も立ちっぱなしで足腰が痛くなり、仕事も大変なんだと実感しました。普段の学校生活では味わえないような経験ができました。
 - ・仕事ってこんなに大変なんだと分かったし、いつも働いてくれている人たちに感謝したいと思いました。
 - ・仕事をするときは、相手のこと、周囲のことに気を付けて見て、考えて、行動していくことが大切だと分かりました。
 - ・重い荷物を運んだり、邪魔にならないようにしたりするのが想像以上に大変でした。
 - ・介護は未知の世界だったので、いろいろなことを見たり知ったりすることができてよかったです。
 - ・仕事をするの大変さが分かったので、いつも働いてくれている親に感謝して、お手伝いをしたいと思いました。
- ### 【各事務所から】（抜粋）
- ・生徒の皆さんが積極的に活動に取り組み、元気な姿に社員一同とても刺激を受けました。
 - ・普段はやらないような作業がほとんどでしたが、集中力を切らず、丁寧に取り組んでくれました。
 - ・日を追うごとに生き生きとしてくる生徒を見て、受け入れた側としては大変嬉しく思いました。
 - ・子どもたちとよく関わり、遊んでくれました。保育士になりたいと言ってきて嬉しく思いました。
 - ・初日と最終日では様子が全く違い、声も大きく、順応力が高いと感じました。
 - ・利用者の皆さんが、生徒さんが来てくださりとても喜んでいたので、来年もぜひお願いします。
 - ・楽しそうに体験していただけてよかったです。返事や挨拶もはきはきしていてとてもよかったです。
 - ・緊張もあったかと思いますが、自分から行動したり発言したりすることの大切さを学ぶチャンスだと思いますので、積極的な取り組みを期待します。
 - ・日々成長が感じられました。あいさつ、話を聞く姿勢が素晴らしかったです。考え方もこちらの参考になりました。